



## 平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月5日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 サンユウ

コード番号 5697 URL <http://www.sanyu-cfs.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上野隆

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 西村圭二

TEL 072-858-1251

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	6,084	40.6	152	—	161	—	100	—
22年3月期第2四半期	4,326	△40.1	△315	—	△281	—	△180	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	16.59	—
22年3月期第2四半期	△29.89	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	12,709	6,839	53.8	1,131.51
22年3月期	12,632	6,835	54.1	1,130.80

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 6,839百万円 22年3月期 6,835百万円

#### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,200	21.2	300	—	290	—	100	—	16.54

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無  
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）、  
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無  
（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
② ①以外の変更 無  
（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期2Q	6,091,000株	22年3月期	6,091,000株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	46,274株	22年3月期	46,274株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期2Q	6,044,726株	22年3月期2Q	6,045,677株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中でありませ

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載された予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国を中心とするアジア経済の高い成長を背景とした生産・輸出の増加などから景気は緩やかな回復が続きましたが、一方、円高が進行し、雇用情勢は依然として厳しく失業率が高水準にあるなど先行き不透明な状況が続きました。

みがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線業界におきましては、主要需要家である自動車業界では政府によるエコカー購入補助金の効果により生産・販売台数は堅調に推移し、また、建設機械業界及び工作機械業界におきましても、アジアを中心とした旺盛な外需及び企業収益の改善による設備投資の回復により、活動水準は回復基調となりました。

一方、材料の鋼材価格につきましては、世界的な原料調達コストの上昇により、大幅な値上げが実施されました。

このような経営環境下、当社グループは全社を挙げて収益の確保、販売数量の拡大及びコスト削減に取り組みました。

まず、販売面では、製品価格の値上げに注力し収益の確保を図るとともに、きめ細かな営業活動に加え、新規取引先の開拓により販売数量の拡大に取り組みました。

生産面では、J K活動を積極的に導入し歩留の向上及び機械毎の目標管理指標の達成に努めるとともに、効果的な設備投資を実施して生産性の向上に取り組むことによりコスト削減に努めました。

その結果、販売数量は42千トン（前年同四半期比39.5%増）となり、売上高は6,084百万円（前年同四半期比40.6%増）と増収になりました。

損益につきましても、鋼材価格の値上げがあったものの、製品価格の値上げ効果及び販売数量の増加に加え生産増に伴う単位当たり固定費の低下による売上総利益の増加により、営業利益は152百万円（前年同四半期は315百万円の営業損失）、経常利益は161百万円（前年同四半期は281百万円の経常損失）、四半期純利益は100百万円（前年同四半期は180百万円の四半期純損失）となりました。

事業部門ごとの業績は、次のとおりであります。

まず、みがき棒鋼部門におきましては、建設機械・産業機械業界の需要が回復しつつあることから、販売数量は27千トン（前年同四半期比43.9%増）となり、売上高も4,095百万円（前年同四半期比46.4%増）となりました。

次に、冷間圧造用鋼線部門におきましても、自動車業界の需要が堅調に推移した結果、販売数量が15千トン（前年同四半期比32.3%増）となり、売上高も1,989百万円（前年同四半期比30.1%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間に実施した設備投資の総額は618百万円で、その主なものは、当社100%子会社の株式会社サンユウ九州における工場建屋の前払金（426百万円）であります。これらの資金は自己資金及び借入金にて賄いました。

なお、一昨年8月に熊本県菊池市に設立した株式会社サンユウ九州は、本年末までに稼働する予定であります。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末における資産の残高は12,709百万円となり、前連結会計年度末に比べ76百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が394百万円減少したことや株価の下落により投資有価証券が90百万円減少いたしましたが、(株)サンユウ九州の工場建屋等の前払で建設仮勘定が573百万円増加したことによるものであります。

当第2四半期末における負債の残高は5,869百万円となり、前連結会計年度末に比べ72百万円増加いたしました。これは主に、長期未払金が84百万円、設備関係支払手形が76百万円減少いたしましたが、新規借入により有利子負債が214百万円増加したことによるものであります。

当第2四半期末における純資産の残高は6,839百万円となり、前連結会計年度末に比べ4百万円増加いたしました。これは、株価の下落によりその他有価証券評価差額金が53百万円減少いたしましたが、四半期純利益100百万円の計上等により利益剰余金が57百万円増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、1,267百万円となり、前連結会計年度末に比べ394百万円減少いたしました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は62百万円となりました。これは主に、売上債権及び棚卸資産の増加により資金の減少がありましたが、税金等調整前四半期純利益を143百万円計上したことや減価償却費により資金の増加があったためであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は629百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得によるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果獲得した資金は172百万円となりました。これは主に、長期借入金を400百万円借入したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績は概ね当初の予想通りに推移しており、通期の業績予想につきましては、現時点において平成22年5月7日の決算発表時と特に変更はありません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ① 会計基準等の改正に伴う変更

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益は、33百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は33百万円であります。

#### ② 表示方法の変更

(四半期連結損益計算書)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,267,780	1,662,605
受取手形及び売掛金	3,749,188	3,611,849
商品及び製品	1,260,165	1,252,866
原材料及び貯蔵品	1,108,597	1,003,011
繰延税金資産	79,369	121,973
その他	246,883	295,252
貸倒引当金	△20,461	△21,182
流動資産合計	7,691,522	7,926,376
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,057,938	1,098,586
機械装置及び運搬具（純額）	1,323,199	1,428,718
土地	1,202,803	1,202,803
その他（純額）	864,846	298,554
有形固定資産合計	4,448,787	4,028,663
無形固定資産	56,507	60,958
投資その他の資産		
投資有価証券	405,039	495,587
長期貸付金	83,808	96,440
その他	44,174	44,731
貸倒引当金	△20,691	△20,175
投資その他の資産合計	512,330	616,583
固定資産合計	5,017,626	4,706,205
資産合計	12,709,149	12,632,581

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間末  
(平成22年9月30日)前連結会計年度末に係る  
要約連結貸借対照表  
(平成22年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,585,512	3,622,473
1年内返済予定の長期借入金	373,200	331,700
未払法人税等	11,990	1,140
賞与引当金	74,120	76,940
設備関係支払手形	49,234	125,560
資産除去債務	8,580	—
その他	302,651	247,717
流動負債合計	4,405,288	4,405,531
固定負債		
長期借入金	1,040,300	866,900
繰延税金負債	612	42,466
退職給付引当金	370,212	369,837
長期未払金	28,072	112,442
資産除去債務	25,000	—
固定負債合計	1,464,196	1,391,645
負債合計	5,869,485	5,797,177
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,513,687	1,513,687
資本剰余金	1,317,207	1,317,207
利益剰余金	3,987,165	3,929,194
自己株式	△21,299	△21,299
株主資本合計	6,796,761	6,738,789
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	42,902	96,614
評価・換算差額等合計	42,902	96,614
純資産合計	6,839,663	6,835,404
負債純資産合計	12,709,149	12,632,581

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	4,326,272	6,084,893
売上原価	4,120,883	5,319,555
売上総利益	205,389	765,338
販売費及び一般管理費		
運搬費	146,189	175,603
給料及び手当	119,762	141,243
賞与引当金繰入額	35,400	26,800
退職給付費用	1,355	14,928
貸倒引当金繰入額	3,314	—
減価償却費	13,333	38,666
その他	201,394	215,274
販売費及び一般管理費合計	520,750	612,516
営業利益又は営業損失(△)	△315,361	152,822
営業外収益		
受取利息	2,216	1,494
受取配当金	4,508	3,276
鉄屑売却収入	1,012	3,034
助成金収入	26,265	—
その他	8,567	10,178
営業外収益合計	42,569	17,984
営業外費用		
支払利息	7,322	7,268
売上割引	627	1,410
その他	471	577
営業外費用合計	8,422	9,256
経常利益又は経常損失(△)	△281,214	161,550
特別利益		
固定資産売却益	—	517
貸倒引当金戻入額	—	705
債務免除益	—	20,000
特別利益合計	—	21,222
特別損失		
固定資産除却損	109	5,198
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	33,580
特別損失合計	109	38,778
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△281,323	143,994
法人税、住民税及び事業税	3,308	6,094
法人税等調整額	△103,945	37,615
法人税等合計	△100,637	43,709
少数株主損益調整前四半期純利益	—	100,284
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△180,686	100,284

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△281,323	143,994
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	33,580
減価償却費	177,871	197,750
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△30,764	374
受取利息及び受取配当金	△6,724	△4,770
支払利息	7,322	7,268
売上債権の増減額(△は増加)	66,532	△137,339
たな卸資産の増減額(△は増加)	702,936	△112,884
仕入債務の増減額(△は減少)	△447,753	△42,888
長期未払金の増減額(△は減少)	—	△84,370
その他の負債の増減額(△は減少)	33,473	13,790
その他	50,055	△39,890
小計	271,626	△25,385
利息及び配当金の受取額	6,655	4,822
利息の支払額	△8,566	△7,595
法人税等の支払額	△4,822	△3,193
法人税等の還付額	—	93,814
営業活動によるキャッシュ・フロー	264,892	62,463
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△145,290	△643,663
有形固定資産の売却による収入	375	883
投資有価証券の取得による支出	△29	△29
無形固定資産の取得による支出	△22,995	—
貸付けによる支出	△32,000	△200
貸付金の回収による収入	10,465	13,122
投資活動によるキャッシュ・フロー	△189,475	△629,888
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	800,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△141,800	△185,100
自己株式の取得による支出	△234	—
配当金の支払額	△72,348	△42,300
財務活動によるキャッシュ・フロー	585,617	172,599
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	661,034	△394,825
現金及び現金同等物の期首残高	1,326,872	1,662,605
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,987,906	1,267,780

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。